

学部長より



卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。システム工学部は早いもので11年目に入り、2000名以上の卒業生を送り出しました。これからも、社会の一翼を担っていくことができる優秀な人材を社会に輩出し、ともに貢献してまいりたいと思います。

昨年10月21日に創立10周年記念式典を開催しました。そのときに配布しました記念誌の写真も併せてお届けいたします。

末筆ながら、皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

システム工学部長 平田 健正

学科長より

今年も、全国各地から元気のよい新入生が入学してきました。デザイン情報というユニークな学科で、自分の能力を花開かせようとの意欲に満ちた若者たちです。

学科のスタッフ一同、彼ら/彼女らの願いを叶え、さらに高いレベルの能力を身につけることができるよう、総力を挙げて教育指導にあたっています。

皆様には、これからも後輩の成長を暖かく見守るとともに、先輩としてご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

デザイン情報学科長 河原 英紀



新入生歓迎会 (5/18)



学部長表彰者のネームプレートを掲示
システム工学部 A 棟ロビーにて

学生表彰

- 日本人間工学会 平成17年度日本人間工学会関西支部大会 関西支部優秀発表賞
- 新聞広告を広告する新聞広告コンテスト(主催:日本新聞協会広告委員会) 学生賞
- 第37回毎日・DAS学生デザイン賞(主催:毎日新聞社、総合デザイナー協会) 入選
- 情報処理学会 第67回全国大会学生セッション 学生奨励賞
- アジア太平洋トレードセンター株式会社 第10回ATC 関西学生卒業作品展 奨励賞
- 平成基礎科学財団 第1回小柴昌俊科学教育賞 優秀賞
- 日本音響学会 関西支部第7回若手研究者交流研究発表会 関西支部若手奨励賞
- 日本産業デザイン振興会 グッドデザイン賞
- 日本感性工学会 著作(共著)出版賞
- RENCON'04 Best Performance Award
- 人類動態学会 第39回大会 優秀発表賞

主な就職先(2005年度学部卒業生、大学院修了生)

(株)島精機製作所	富士通(株)	京セラコミュニケーションシステム(株)	(株)立花エレクトック
(株)セガ	三菱電機(株)	ニッセイ情報テクノロジー(株)	大阪府警察
ダイキン工業(株)	(株)三菱電機エンジニアリング	日立ソフトウェアエンジニアリング(株)	愛知県警察
(株)デンソー	凸版印刷(株)	ヤフー(株)	
日機装(株)	(株)NTTドコモ関西	(株)access	
オムロン(株)	(株)オービック	(株)内田洋行	など

風景



大学キャンパス・サイン



教員メッセ(6/29)



卒論展示会(2/28)

スタッフの異動(現在のスタッフについては <http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/di/staff/staff.html> をご覧ください)

2004年3月 佐渡山安彦教授 定年退職	2004年4月 吉野孝助手 助教授に昇任	2005年4月 坂野秀樹助手 名城大学へ転出
2004年4月 西浦敏信助手 立命館大学へ転出	2004年4月 西村竜一助手 着任	2005年4月 伊藤淳子助手 着任
2004年4月 原田利直助教授 教授に昇任	2005年3月 西部優奈助手 退職	

TOPICS!

1 総合研究棟

全学共用の公募型教育研究プロジェクトや大学院システム工学研究科のスペースとして利用されています。奥に見えるのはシステム工学部A棟です。



2 10周年記念植樹

昨年10月にシステム工学部創設10周年を記念して、クロガネモチという赤い実のなる木を植樹し、あわせて記念碑を設置しました。



3 和太 Logo Goods

和太オリジナルグッズが続々登場。飴のほかに、タンブラー、大皿、パンケースなど、現在15品目あります。

和太生協ウェブサイトから購入できます。



4 和太教員メッセ

「和太教員メッセ」とは、本学の全教員が有する知的資源(教育・研究成果)を公開し、教員の活動を熟知して頂くという企画で、6月29日に和歌山ビッグホールで開催しました。



2006年の出来事・行事

1月26日・27日	電子情報通信学会 音声研究会開催	6月29日	教員メッセ開催
2月28日	卒論展示会	8月6日	オープンキャンパス
3月1日	卒論発表会	8月17日~19日	大学院入試
3月24日	卒業式(成績優秀者:安本 泰子君)	10月13日	総合消防訓練
4月5日	入学式	11月11日・12日	和太祭
5月18日	新入生歓迎会(2,3,4年の先輩達の企画で実施しました)		

ご案内

これからも、今回のようなリーフレットを皆さまに送付し、和歌山大学システム工学部とデザイン情報学科の情報を発信していきたいと考えています。それに際して、今後の送付先の確認の記入用紙と返信用の封筒を同封させて頂きました。添付のアンケートとともにご返信いただきたく存じます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

連絡先

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930 和歌山大学システム工学部デザイン情報学科事務室
TEL 073-457-8108 E-MAIL: sakoda@sys.wakayama-u.ac.jp

研究室の近況

デザイン情報学科では、専門領域をシステム情報デザイン、メディア情報デザインに大別し、教育・研究をより組織的に進めることができるように見直しました。それぞれの研究室の名前とメンバーは、右記のようになっています。

研究室のページがリニューアルされています。多くのページが見違えるように素晴らしくなっています。詳しい近況は、以下のデザイン情報学科のページから、それぞれの研究室へのリンクを辿って下さい。

<http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/di/>

システム情報デザインユニット

●ソフトウェアデザイン研究室●



リベンジを果たすべくソフトボール大会に臨む

その結果、見事 9-3 で快勝。2 年前のリベンジを果たすことができました。

6 月、2 年ぶりに山岡/原田研合同チームとのソフトボール大会を行いました。2 年前には大敗を喫している因縁の相手なので、「今年こそは」と気合い十分で試合に臨みました。エース 鯨坂先生を中心によく守りそしてよく打ち、特に 4 回生の活躍が光った試合でした。

●システムデザイン研究室●



2005 年度システムデザイン研飲み会(大学近くの赤鬼にて)

現在システムデザインゼミ(旧島田ゼミ)という名称となり、教授 1 名のもと学生総勢 13 名が新マシンの入った 707 室で研究しています。研究内容も (1) ネットリサーチ (2) アパレルデザイン (3) 空間デザイン (4) 映像 (5) アニメなど興味深いテーマを加え、新たに衣替えしたゼミを一度見に来てください。

●聴覚メディア研究室●



満員の聴講の様子

今年は 11 人の 3 年生が新たにメンバーに加わり、5 人のスタッフ(河原、入野の両教授、西村助手、ポスドクの高橋研究員、秘書の池田さん)と合わせて 37 人となりました。総合研究棟の研究スペースも、聴講のときには溢れかえっています。2004 年の RENCON の計算機によるピアノ演奏の表情付けで優勝した橋田光代さんは、この 3 月に博士の学位を授与されました。伝説の大学院生の森勢将雅君は、日本学術振興会の特別研究員(DC1)となり、ますますカリスマ性に磨きをかけています。

●インタラクティブ CG 研究室●

昨年は、こだわりのフランス人が交換留学で滞在していました。外見はナイーブな感じでしたが、気さくで付き合いもよく、日本語が全く話せない状態で来たことも、結果的にいい「異文化コミュニケーション」になったと思います。今年は、論文の採録が決まりました。別の国際会議の採択通知も来ました。近況は研究室のブログなどで情報提供していますので、覗いてみて下さい。

●デザインシステム計画研究室●



テーマパークが実現!

テーマパークが完成しました。今年はゲームも作っています。いろんな形で一連のプロジェクトに参加して下さった卒業生の皆さんにとっても、思い出深いのではないのでしょうか。

松田商店さんとの企業プロジェクトを今年も行っていきます。平成 15 年のダストボックスデザイン(Gマーク受賞)、平成 16 年の絵本制作・出版、平成 17 年の Web・電子絵本制作(環境 Goo 大賞優秀賞受賞)と続き、さらに平成 18 年にはクルリンちゃんの

●社会情報ネットワーク研究室●



たこ焼きパーティの様子

ヤングリサーチ賞を受賞しました。吉野研の学生の受賞者は、本山由利菜さん、藤井薫和君、松下直樹君と 3 名になりました。毎週のゼミは大変ですが、研究室ライフを楽しんでいます。

平成 18 年度、5 名の新しい 3 年生を迎え、学生 14 名となりました。5 月には、早速、新 3 年生を囲んでの新歓を開催しました。6 月には、研究室の研究発表会後に、たこ焼きパーティを行いました。また、7 月の DICOMO で発表した大学院 2 年の松下直樹君が、

●イメージメディア情報処理研究室●



ICCV2005 にて

で実時間物体追跡注視システムの実演を行ないました。また、視点追跡機能を実現した立体映像提示法の研究成果を 2006 年 7 月 19-21 日仙台で開かれた画像認識に関する学会(MIRU2006)で発表しました。

実時間形状計測の研究成果を、2005 年 6 月 13-16 日カナダのオタワで開催された 3 次元形状計測とモデリングを中心内容とした国際学会で発表しました。2005 年 10 月中国北京で開かれたコンピュータビジョンの世界最高レベルの学会(ICCV2005)

●空間デザイン研究●



APEX を利用した遠隔地間設計演習

コンピュータによって強化されたデザイン支援を目的に行ったものです。また研究室で独自に開発を進めているデザイン支援環境 APEX を利用した遠隔地間設計演習(Virtual Design Studio)も金沢工業大、立命館大、熊本大と合同で実施し、学生はインターネットを利用した新しい設計方法・環境について学んでいます。

景観研究プロジェクトの一環として、北村元成先生との共同作業により大学キャンパス・サインの企画、デザイン検討、製作などを行いました。これは、大学内で老朽化やデザイン統一がなされていなかったサインについて、CG によるシミュレーションや Web によるアンケート評価などを行い、

本年度の新入生歓迎会は、2、3、4 年の先輩達がチームを組んで企画しました。サポート役のはずの教員も、この「ハレ」の機会に便乗して普段とは違った面を見せていました。なかなか形成することが困難な学年・世代を超えたつながりが、今回のような学生たちの創意を生かした活動の中から生まれることを期待しています。

メディア情報デザインユニット

●デザインエルゴノミクス研究室●



国際会議(IEA)での森君の発表

国際会議(IEA)での森君の発表

毎年、夏にデザインエルゴノミクス研究室主催の成果報告会を開催しています。昨年度は 100 名以上の参加者がありました。今年は、年 8 月 25 日、8 月 30 日に開催します。研究分野としては、In-Suite Ergonomics、マクロエルゴノミクス、HDT(ヒューマンデザインテクノロジー)に特に注力してプロジェクト単位での研究活動を進めています。これらの成果に基づいて、国内・国外を問わず、意欲的に研究発表を行っています。昨年度は台湾で行われた IDC(国際デザイン学会)で 8 名が発表し、研究室内の研究意欲も更に高まりました。

●インタラクティブデザイン研究室●



ゼミの後に集合写真

昨年度の 11 月に、M2 生 2 名が、シンガポールで開催された国際会議で発表しました。今年度より、新たに GPS ケータイを利用した研究に着手しています。今年度は、M2 生 2 名、M1 生 1 名、卒研生 6 名、3 年生 5 名の体制です。テッサン学習支援プロジェクトは、科研費(=日本学術振興会科学研究費補助金)の最終年度ですが、天文プロジェクトでは、新たに科研費を獲得し、精力的に研究活動に取り組んでいます。秋からは、フランス人の学生が半年間、研究で滞在する予定です。

●グループウェア研究室●



アバターによるコミュニケーション(和メッセにて) 写真中央

故宮博物院ガイドシステムの画面 写真右上

グループウェア研究室は昨年 4 月に伊藤淳子先生を迎え、宗森教授と 2 人で構成されています。現在行っている研究は絵文字やキャラクター(アバター)によるネットワークコミュニケーション、ガイドシステムやゲームなどのネットワークエンタテインメント、発想支援グループウェアなどです。和大教員メッセではアバターや絵文字によるコミュニケーションシステムを展示しました。また、今年の秋には故宮博物院(北京)のガイドシステムや GPS と携帯端末を使った電子宝探しゲームの研究をイギリスの国際会議で発表を予定しています。

グループウェア研究室は昨年 4 月に伊藤淳子先生を迎え、宗森教授と 2 人で構成されています。現在行っている研究は絵文字やキャラクター(アバター)によるネットワークコミュニケーション、ガイドシステムやゲームなどのネットワークエンタテインメント、発想支援グループウェアなどです。和大教員メッセではアバターや絵文字によるコミュニケーションシステムを展示しました。また、今年の秋には故宮博物院(北京)のガイドシステムや GPS と携帯端末を使った電子宝探しゲームの研究をイギリスの国際会議で発表を予定しています。